



## 問 不登校児童生徒に対する津市の支援は

最近、学校に行かなくても憲法で言われる教育の義務、権利等を補っている、というような風潮があるように感じるが、学校は、皆と協力したり助け合ったりして何かを目指すといった社会性を養うものである。これに対する教育委員会の見解は。

また、不登校児童生徒が学校へ行けるように、家庭に対してどのような支援をしているのか。

## 答 さまざまな方法で子どもが安心して学べる学校づくりに努める

社会の形成者として子どもを育て、また、人格形成のために教育するためには、学校は、児童生徒が楽しく意義を持って、安心して学べる場所となるように努めなければならないと考えている。

不登校児童生徒の家庭に対しては、学校が子どもたちや保護者としてしっかり話をして、不登校になったきっかけ等、不登校に関する意識の違いを埋めていくことが必要である。さらに、必要に応じて相談機関を紹介するなど、さまざまな手段をとるとともに、いわゆる生きていく上で必要な非認知能力の基礎を築く取り組みを、家庭と連携しながら進めていく。

### その他の質疑・質問

- 津市公正公平な市政の確保に関する条例について

▶  
幼児教育と学校教育の接続を目的とした『津市架け橋プログラムハンドブック』



## 問 津駅東西自由通路の整備やバスタ事業について問う

津駅東西自由通路の整備やバスタ事業については市民の期待が大きい。津駅の通勤客や利用客の安全性を高めて、東西の自由通行と周辺のにぎわい創出のために、津市として思い切った事業を考えていくべきではないか。

## 答 令和6年度に津駅東口のビジョンを示していく

津駅西口については、具体的な姿を示した上で、令和7年度に設計を行い、令和8年度には工事に着手していきたいと考えている。

津駅東口については、津駅東口周辺まちづくり懇話会から示された防災面やにぎわいの創出などの地域の意向も踏まえた上で、津駅東口周辺に点在している乗降場の集約化と津駅東西自由通路の方向性を示していかなければいけないと考えており、令和6年度中には、津駅東口のあるべき姿について、バスタ事業と結び付けたビジョンを示していく。そのために、国から採択を受けた官民連携基盤整備推進調査事業を実施していきたい。

### その他の質疑・質問

- 津エアポートライン株式会社からの要望があった件について
- 津市の委託業務について
- 津市観光協会の姿勢や対応に問題はないか
- 新たな工業用地の候補地提案募集事業について
- デマンドバス事業の進捗は など

▶  
市民の大きな期待が寄せられている津駅東西自由通路の整備やバスタ事業

